

試聴会・訪問記掲載

シマムセンオーディオ試聴会 (2019.3.17) —Denon Marantz B&W DALI 試聴商談会—

1. はじめに

シマムセンで開催された Denon Marantz B&W DALI 試聴商談会に行ってきました。参加したのは、2日目の第2ブロックの Project ブランド試聴会で、オーストリアウィーンのオーディオメーカー Project のアナログプレイヤー Xtention 9 EVO や CLASSIC などの試聴と説明を受けました。

[Denon Marantz B&W DALI 試聴商談会](#)



2. 使用機器

アナログプレイヤー：Project Xtention 9 EVO (写真左)

Project CLASSIC (写真右)



フォノイコライザー：Lux E-250

プリアンプ：Marantz SC-7

パワーアンプ：Classe CA-M300×2

スピーカー：B&W 803D3



当日のセッティング

3. 試聴の経過

試聴は Project の会社の成り立ちや、Project のアナログプレイヤーの設計方針、および試聴に供せられた 2 機種の詳細な仕様の説明を交えながら行われました。

最初は、低価格の Classic に DENON の DL-110 を装着して試聴が始まり、ギターで始まるジャズのような曲と女性ボーカルがかかりましたが、ディテールの表現力があり、クリーンで見通しのよい音がしていました。

次に、お馴染みのカンターテドミノがかかりましたが、オルガンの量感があり、アンプの駆動力を見せつけていましたが、合唱が濁り気味になるのが気になりました。

ここで、2 台のプレイヤーの聴き比べということになり、もう一台の Project Xtention 9 EVO に DENON の DL-103R を装着したものと、同じ曲で比較することになりました。ロックのような曲がかかり、Project Xtention 9 EVO の方が、よりナチュラルな印象でしたが、Classic の方も価格を考えれば、これで十分ではないかという印象です。

この後、Project Xtention 9 EVO のままで、ラ・カンパネラと最新録音のジャズのビッグバンドがかかりましたが、ビッグバンドはアンプの駆動力に助けられて迫力がありましたが、ラ・カンパネラの高音の切れと左手のクリアーさが少し不足するような印象でした。

4. まとめ

Project のアナログプレイヤー 2 機種ともコストパフォーマンスは非常に高いと感じましたが、アンバランスほどの高価なアンプのドライブ力に助けられていましたし、オーケストラなどのクラシックの音源がなかったので、上記の印象は、多少買いかぶったところがあるかもしれません。

以上